

IVー土地活用の多次元相乗効果作戦時代

IV-2 次世代の土地活用ー事例(2)

(コレクティブハウス案)

土地活用でアパートやマンションといった共同住宅を主要とする場合、コミュニティ・コアを例えば農業とし、アグリコミュニティづくりをします。

むしろ入居者は農業に関心を持ち自ら農業参入者となることを考えている人達です。

農家との連携が不可欠ですが高齢化し人で不足の農家はたくさんいます。

コミュニティ・コアで農産物を使ったレストランやcafé、加工品づくり、農業体験教室、農産物マルシェ、農家直産の販売などイベントが色々考えられます。

入居者が農業を手伝い、農家も雇用者補助制度で農作業を軽減でき相乗効果が期待できます。このような拠点は最近かなり増えており拠点間交流もまた前向きなイベントとなり得るでしょう。

建物は従来のアパート感を超えた斬新なデザインが必要です。(コレクティブハウス)

農業もオシャレにしてよい時代です。

入居者間のコミュニケーションに役立つようBBQテラスやアイランドキッチンスタイルのホームバーを設置してもよいでしょう。

場合によってはコワーキングオフィスコーナーを設けるのもあります。

できれば入居者だけでなく近隣住民が参加できるように外部からの出入を可能としておきたいものです。

提携農家の方に参加していただき農業指導教室を開催できるスペースにも使いたいものです。多様な用途と多様な収入でコアスペースの賃料を確保し、入居者も家賃＋農業体験費を加算し建設費高騰に対応します。